

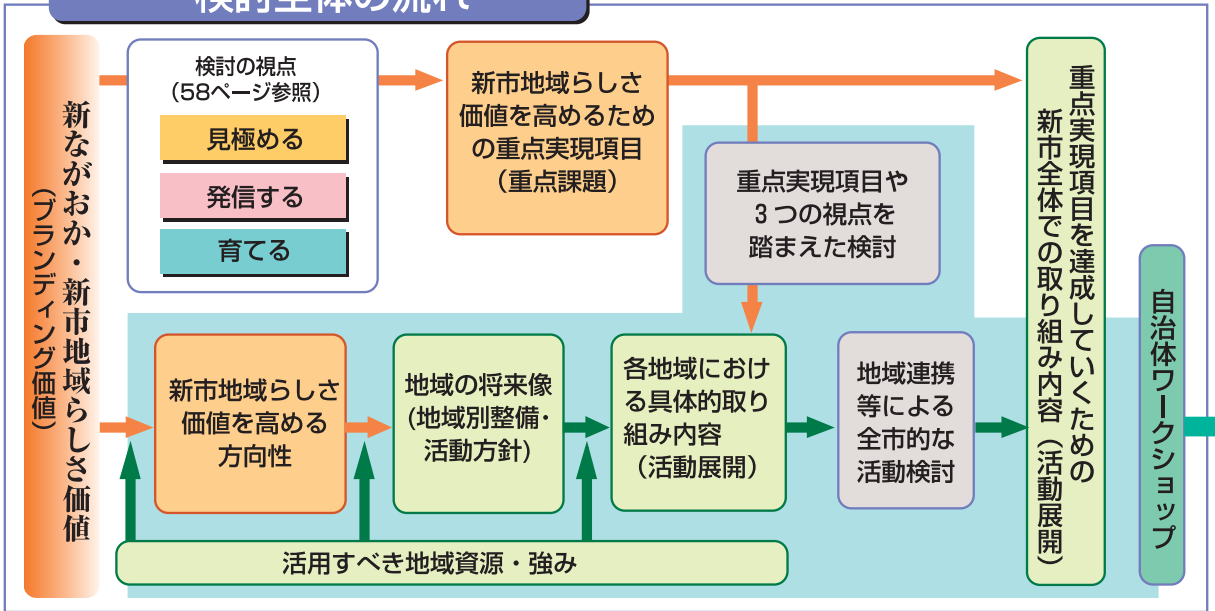


地域の夢の検討手法と経過

各地域の自治体職員が参加し、専門分野を活かしながら市民の思いを具体化しました。

第4部では、市民の思いを材料とした「新市地域らしさ価値」を高めるために、各地域での将来像（整備・活動方針）と取り組み内容（活動展開）を各地域の自治体職員が参加し、専門性を活かした具体化を行いました。

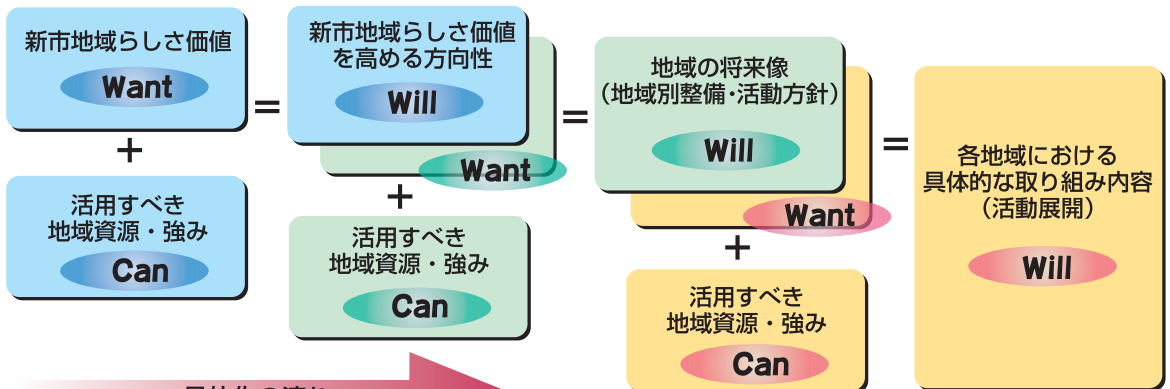
検討全体の流れ



解説

基本となる検討手順・仕組み

- 第1部の策定の基本方針のように **なりたい姿WANT** + **できる姿CAN** = **あるべき姿WILL** を基本の仕組みとした検討を行いました。
- 答えとして出したWILL項目を、WANT項目と読みかえて繰り返すことで、具体性を高める検討を行いました。
- この検討方法は、より深い活用資源の価値の理解や将来的な可能性の検討が必要となります。



具体化の流れ

自治体職員ワークショップ実施プログラム

一連の検討の流れは、自治体職員参加のワークショップで行いました。

- 自治体職員のワークショップは、各市町村からまちづくりを担当する3人の参加を基本とし、以下に示すテーマと内容で、6月から8月の間に8回開催されました。
- 検討にあたっては、各種調査で集めた多くの住民の声・思い<地域の資源・強み>を前提にするとともに、8つの市町村の参加者全員が、各市町村の検討内容を共有していくことを基本として進めました。

テーマ

- ①各地域の資源・素材などを残らずあげる
- ②他の地域の資源・素材などを知る
- ③地域らしさ価値実現に向けた地域の役割を考える
- ④地域の役割を果たすための地域別整備・活動方針を考える
- ⑤新市の重点実現項目と、地域別整備・活動方針から各地域の活動展開のあり方を検討する
- ⑥各地域の連携、新市全体で取り組むべき活動を考える

開催経過

第1回 (6 / 6)

- 参加者のゆるやかな関係づくり
- ワークショップの主旨・進め方などへの理解共有
- 各市町村の地域自慢

第2回 (6 / 18)

- 地域資源の洗い出し
- 新市における地域資源の活用の検討
- 各地域での訴求点(強み)抽出の準備

第3回 (6 / 26)

- 地域資源の絞込み
- 訴求点(強み)としての整理

小委員会での「新市地域らしさ価値」策定

第4回 (7 / 3)

- 「新市地域らしさ価値」実現に向けての地域の役割検討
- 訴求点(強み)の展開(活用できる資源について検討)

第5回 (7 / 10)

- 「新市地域らしさ価値」を高める<地域の強み(CAN)><方向性>と<実現すべき事柄(WILL)>の整理

小委員会での「重点実現項目」策定

第6回 (7 / 17)

- 各市町村の<地域の強み(CAN)><方向性>と<実現すべき事柄(WILL)>の発表、全地域での共有

第7回 (8 / 1)

- 地域別整備・活動方針(案)の発表、全地域での共有
- 地域別活動展開の検討方法についての協議・調整

第8回 (8 / 21)

- 地域別活動展開についての発表、全地域での共有
- 活動展開から考えられる地域連携についての検討
- 新市全体で取り組むべき活動についての検討